

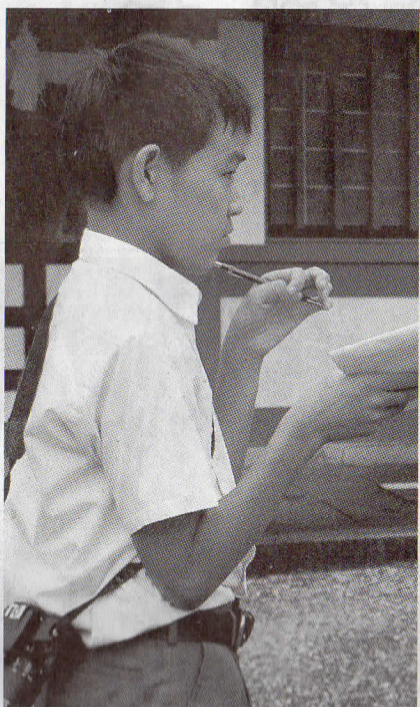
自己紹介



いわ ぐち しょう た
岩口 祥大 君
城南中学校3年

熊野新聞社で9月12日から14日まで職場体験をしました。
僕は、新聞が一番身近な情報を伝える物で、皆の役に立っている物だから、新聞がどのように作られるかに興味を持っていました。職場体験の中には、取材する所があつて、最初は少し緊張しましたが、緊張は徐々に慣れてきました。取材の中で1番大事

なことはコミュニケーションだと思いました。この経験を生かして、人々とどんどんコミュニケーションを気軽にとれるようにしたいです。
学校では、パソコン部に所属しているので、ネットサーフィンをしたりしています。社会科が好きなので、新聞や、テレビでニュースを見たりして、生活をしています。(取材・裕一静)



さこ いっ せい
裕 一静 君
城南中学校3年

9月12日から14日まで職場体験をしました。僕が熊野新聞社に来た理由は新聞社ではどんなことを心掛けてどんな仕事をしているかに興味を持って、職場体験に来ました。社会の公民が好きで職場体験する前から、作り方が気になっていた。熊野新聞社に行きたいと思いました。取材に行ったときに、

最初は慣れない環境で胸がドキドキしていましたが職場体験をするうちにどんどん慣れてきて最後には取材がとても楽しく感じました。学校ではバドミントンをしていますが、夏の大会で引退したので、今は受験勉強に集中して生活しています。
(取材・岩口祥大)

新宮市立城南中学校 23事業所で職場体験 仕事の喜び、厳しさ実感

新宮市立城南中学校(中田善夫校長)の3年生61人は12日から14日までの3日間、市内23事業所で職場体験学習をした。仕事の喜びや厳しさを実感し、働くことの意義や目的を把握するとともに、正しい職業観や勤労意欲を身に付けることが目的。職業人としての先輩に接することで生き方や人間関係の大切さを学ぶという狙いもある。



体験記者・裕 一静

新宮市の熊野速玉大社でみこの職場体験をしていたのは、谷口夏未さん、中村華奈子さん、山内愛花さん。3人は「言葉遣いや、あいさつ、気配り、礼儀を心掛けています」と話し、「礼儀にとっても厳しい」「鈴払いや、意外にも、接客が多いので楽しい」と声をそろえていた。
新宮市大橋通の南海堂で職場体験をしていたのは、仲望見さん、井沼伸さんと井沼さんに職場体験で一

体験記者・岩口 祥大

新宮市の熊野速玉大社でみこの職場体験をしたのは、谷口夏未さん、中村華奈子さん、山内愛花さん。中村さんはみこの職場体験を選んだ理由を「神社の仕事に興味を持ったから」と話した。全員が「礼儀にとっても厳しい」「鈴払いと意外にも接客が多いのでその二つが楽しい」と声をそろえた。

市立王子ヶ浜小学校に職場体験に来ていたのは板持皓大君、宇恵惟織君、河村伯空君、傳田未咲さん。宇



番忙しいと感じたことを聞くと、「パンの仕入れや、皿洗いの時間がないとき」と答えた。2人は「この職場体験で学んだことを生かしていきたいようにしたい」と話していた。
店主の中川洋さんは「お客さんが、自分が作ったスイーツを喜んで食べてくれることがうれしい」と話していた。

みんなの新聞

熊野新聞社 職場体験記者がつくる

2018年(平成30年)

9月25日
火曜日

学生が事業所などの職場で働くことを通じ、仕事の大変さや喜びを学び、社会人との触れ合いを体験する中学生の「職場体験学習」が熊野地方の各校でも行われています。本紙では中学生記者がそれぞれの職場体験の現場で取材した記事をまとめ、「みんなの新聞」としてお届けします。

恵君が事業所を選んだ理由は「自分の将来の職業に一番近かったから」。体験した感想を聞くと、河村君は「つらいこと、楽しいことがいっぱいある」。板持君は「教えたときにそれが相手に伝わるとうれしい」。傳田さんは体験での目標を「みんなから自分が来てくれてよかったと思えるようにしたい」と話していた。